安全データシート

作成日：2026 年 05 月 14 日

1.　製品及び会社情報

製品名	BOND-接着強化剤-
会社名称	株式会社 Belle
住所	大阪府大阪市北区梅田１－１－３ 大阪駅前第３ビル ２９階
電話番号	０７０－３１０８－４４７０
推奨用途	接着素材用補助剤
使用上の制限	推奨用途以外に使用される場合には、事前に安全性をご確認ください。本製品が体内に残留する恐れのあるような用途には使用しないでください。

2．危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理的危険性

爆発物	：分類対象外
可燃性又は引火性ガス	：分類対象外
エアゾール	：分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	：分類対象外
高圧ガス	：分類対象外
引火性液体	：区分２
可燃性固体	：分類対象外
自己反応性化学品	：分類対象外
自然発火性液体	：区分外
自己発熱性化学品	：分類できない
水反応可燃性化学品	：区分外
酸化性液体	：分類できない
酸化性固体	：分類対象外
有機過酸化物	：分類対象外
金属腐食性物質	：分類できない

健康有害性

急性毒性（経口）	：区分外
急性毒性（経皮）	：区分外
急性毒性（吸入：気体）	：分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	：分類できない
急性毒性（吸入：粉じん：ミスト）	：分類対象外
皮膚腐食性又は皮膚刺激性	：区分２
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：区分１
呼吸器感作性	：分類できない
皮膚感作性	：分類できない
生殖細胞変異原性	：分類できない
発がん性	：区分１Ａ
生殖毒性	：区分１Ａ
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：区分１、区分３
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：区分１、区分２
吸引性呼吸器有害性	：分類できない

環境有害性

水性環境有害性（急性）	：分類できない
水性環境有害性（長期間）	：分類できない
オゾン層への有害性	：分類できない

【GHS ラベル要素】

絵表示 ：

注意喚起語 ：危険

危険有害性情報 ：引火性の高い液体及び蒸気、強い眼刺激、皮膚刺激、呼吸器への刺激のおそれ、眠気やめまいのおそれ、発がんのおそれ、生殖能又は胎児への悪影響のおそれ、長期にわたる又は、反復ばく露による臓器の障害、長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経、呼吸器系の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】　：使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。環境への放出を避けること。

【応急処置】　：皮膚に付着した場合は、多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当を受けること。吸入した場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。火災の際は、粉末消火剤などを使用すること。

【保管】　：容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】　：内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

重要な徴候及び想定される
非常事態の概要　：情報無し

３．組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：アルコールと添加物の混合物

化学物質名称	含有量（%）	化学式	官報公示整理番号		ＣＡＳ番号
			化審法番号	安衛法番号	
エタノール	＞75	CH3CH2OH	(2)-202	公表	64-17-5
イソプロピルアルコール	＜15	(CH3)2CHOH	(2)-207	公表	67-63-0
その他	＜10	企業秘	収載済	収載済	企業秘

分類に寄与する不純物及び安定化添加物：情報無し

４．応急処置

吸引した場合　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断・手当を受けること

皮膚に付着した場合　：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

眼に入った場合　：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。医師の診断・手当を受けること。

飲み込んだ場合　：口をすすぐこと。気分が悪い時は医師の診断・手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状並びに最も重要な兆候及び症状

：皮膚に付着した場合、皮膚乾燥、紅疹（発赤）、かゆみ、発疹を引き起こすおそれがある

応急処置をする者の保護　：適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

医師に対する特別注意事項　：症状に合わせて処置すること。眼に入った場合は、特に注意すること。

５．火災時の措置

適した消火剤　：粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤

使用してはならない消火剤　：棒状注水

消化を行う者の保護　：耐薬品性着衣を着用する。適切な呼吸用保護具を用いる

特有の危険有害性　：極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。

加熱により容器が爆発するおそれがある。火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。引火性の高い液体及び蒸気。

特有の消化方法　：引火点が極めて低い：散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項　：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。作業者は適切な保護具（「８．ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項　：河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。

除去方法　：少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。局所排気・全体換気：『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項　：使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意

を読み理解するまで取り扱わないこと。熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

保管

適切な保管条件　：高温にすると破裂の危険性があるため、直射日光のあたるところや火気等の近くなど４０℃以上になる場所にはおかないこと。

安全な容器包装材料　：金属及びポリエチレン製容器

８．ばく露防止及び保護措置

設備対策　：局所排気装置などの換気設備を設置する。
取り扱い場所近くに手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確化する

管理濃度　：イソプロピルアルコール；200ppm　その他未設定

許容濃度　：イソプロピルアルコール；400ppm　その他未設定

保護具

呼吸器の保護具　：適切な呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具　：耐油性手袋

眼の保護具　：側板付き普通眼鏡、ゴーグル型眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具　：実験用エプロン、液体飛沫から眼、顔及び肌を保護する。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態

形状　：液体

色　：無色～淡黄色透明

臭い　：アルコール臭

ｐＨ　：データなし

融点　：データなし

沸点　：６４～７８℃

引火点　：－１．４℃（ダグ密閉式）

発火点　：３６３℃

蒸気圧　：７．８９ｋPa（エタノール）

比重　：０．７８９ at ２０℃

密度　　：データなし
蒸発速度　　：データなし
溶解度　　：水に完全溶解
爆発特性　　：３６．５／上限　３．３／下限
発火点　　：３６３℃

１０．安定性及び反応性

安定性　　：通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性　　：データなし
危険有害な分解生成物　　：データなし

１１．有害性情報

急性毒性（経口）　　：情報無し
急性毒性（経皮）　　：情報無し
急性毒性（吸入：蒸気）　　：情報無し
皮膚腐食性／刺激性　　：区分２
眼に対する重篤な損傷／刺激性：区分１
皮膚感作性　　：情報無し
生殖細胞変異原性　　：情報無し
発がん性　　：区分１Ａ
生殖毒性　　：区分１Ａ
特定標的臓器毒性（単回ばく露）
　　：区分１、区分３
特定標的臓器毒性(反復ばく露）
　　：区分１、区分２
吸引性呼吸器有害性　　：情報無し

１２．環境影響情報

水性環境有害性（急性）　　：分類できない
水性環境有害性（長期間）　　：分類できない
生体蓄積性　　：分類できない
土壌中の移動性　　：分類できない
オゾン層への有害性　　：分類できない

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装　：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報　：消防法の規定に従う
海上規制情報　：船舶安全法に従う
航空規制情報　：航空法の規定に従う
国連分類　：引火性液体類　等級３
国連番号　：その他の引火性液体（他の危険性を有しないもの）1993
包装等級　：Ⅱ

１５．適用法令

消防法　：危険物第４類第１石油類
危険等級Ⅱ（水溶性液体）（400L）

労働安全衛生法　：第５７条の１（施行令第１８条）名称等を表示する危険物及び有害物
（通知対象物　エタノール）
（通知対象物　イソプロピルアルコール）

第５７条の２（施行令第１８条の２）名称等を表示する危険物及び有害物
（通知対象物　エタノール）
（通知対象物　イソプロピルアルコール）

化学物質管理促進法　：該当しない

船舶安全法	：危規則第３条危険物等級３　引火性液体類 （正３容器等級２）
航空法	：施行規則第１９４条危険物告示別表３ 引火性液体（Ｇ・等級２）
港湾法	：施行規則第１２条危険物　引火性液体類
海洋汚染防止法	：有害液体物質Ｃ類

１６．その他の情報

参考文献	：ＮＩＴＥ公開データ 国際化学物質安全性カード 国際簡潔評価文章

記載内容の取扱い

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成されておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。この情報は、新しい知見及び試験、法令の改正などにより改正されることがあります。